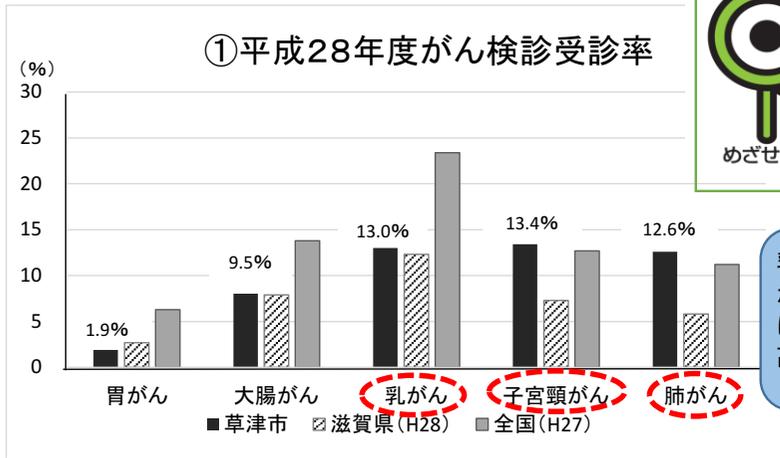
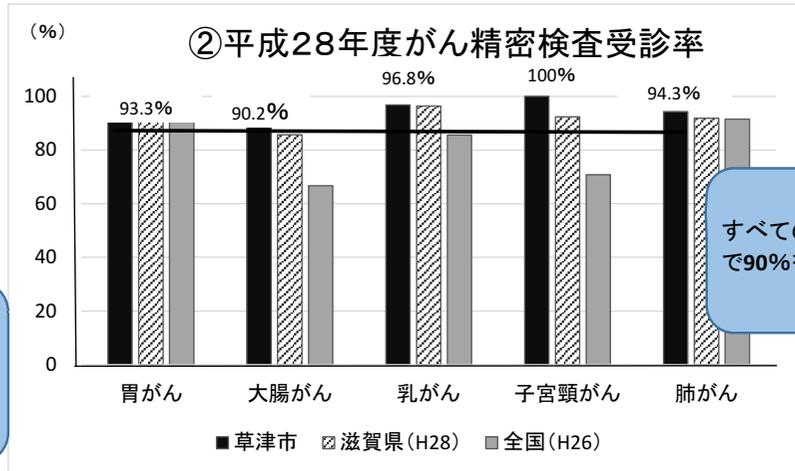


# 1)各種けん診について

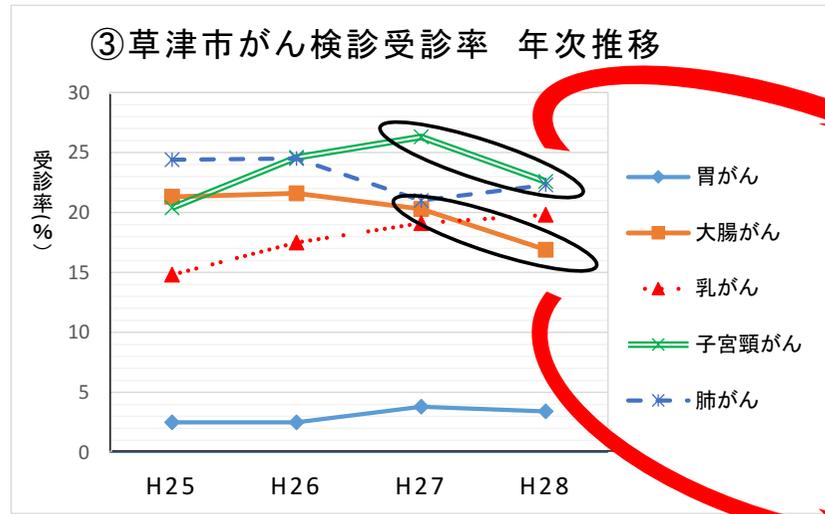


乳・子宮頸・肺がん検診受診率は県平均より高い



すべてのがん検診で90%を達成

①・②の対象者は全人口として算出しています。

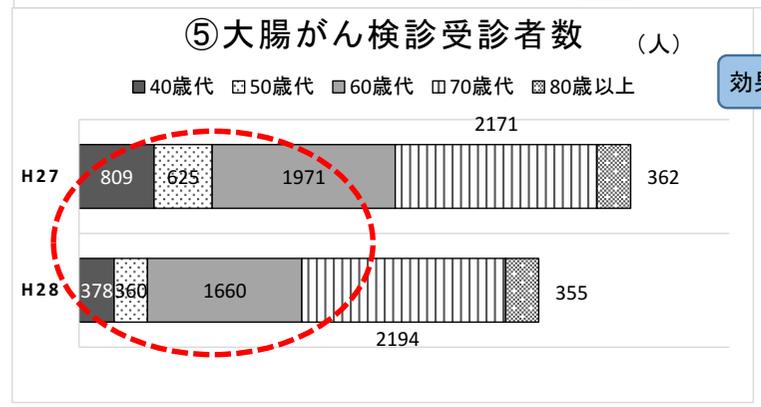


③の対象者はH22国勢調査の人数から算出し、就業人口を除いた推計対象者です。

乳・肺がん検診は増加 しかし、胃・大腸・子宮頸がん検診は減少



子宮頸・大腸がん検診共に、低年齢層・60歳代の受診者が減少している



効果的な啓発が必要